

3x3 有限射影線型群のコホモロジーについての注

手塚 康誠 (Michishige Tezuka)
 琉球大学理学部 (Faculty of Science)

序

これは前回の集会で話さしてもらった、スペクトル列報告です。使う記号から初めたいと思います。 \mathbb{F}_q を有限体、 \mathbb{C} を複素数として射影線型群 $PGL_3(\mathbb{F}_q)$, $PGL_3(\mathbb{C}) = GL_3(\mathbb{C})/\mathbb{C}^\times$ と定義します。ここで $\mathbb{F}_q^\times, \mathbb{C}^\times$ は \mathbb{F}_q 及び \mathbb{C} の乗法群として

$$\mathbb{F}_q^\times = \left\{ \begin{pmatrix} \alpha & & \\ & \alpha & \\ & & \alpha \end{pmatrix} \mid \alpha \in \mathbb{F}_q^\times \right\}$$

等です。このとき有限群のコホモロジー $H^i(PGL_3(\mathbb{F}_q), \mathbb{Z})$ を考えます。係数体を \mathbb{Z}/ℓ に限る理由として、対応する $PGL_3(\mathbb{C})$ について、 $\ell \neq 3$ とすると

$$H^i(PGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell) \cong H^i(BGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell).$$

更に $PGL_3(\mathbb{C})$ の積から定義される余積 $\Delta: H^i(PGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell) \otimes H^j(PGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell) \rightarrow H^{i+j}(PGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell)$ が非可換になることによります。 G 単射 \mathbb{Z} バイ群とするとき、 $H^i(G(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell)$ のホップ・代数的ボレル、荒木、戸田、三村、河野の諸先生の研究によつてそれによると上述の $H^i(PGL_3(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/\ell)$ がランクの一番小さい G が可換とはならない列になっています。以下 PGL_3 を G とする。この係数はことわりがない場合は \mathbb{Z}/ℓ とします。

1 方法と結果

前回話さしていただいたとき、構成したスペクトル列

$$(1) E_2 = \text{cot } H(G(0), \mathbb{Z}/3) \Rightarrow H(G(f))$$

を使て、 E_2 項を計算します。次に E_∞ 項を見たいわけですが、これは E_2 項がただけからではわかりませんでした。仕方がないので、 $H(G(f))$ を別のやり方で行なってみました。 $f \equiv 4, 7 \pmod{9}$ の条件より $G(f)$ の 3-Sylow 群は位数 27 の *extra special* 3-群 E になっているので、 $H(E)$ は計算されているので、それから $H(G(f))$ を計算してみました。その結果 $E_2 = E_\infty$ となっていることがわかりました。この説明からわかりますように、この方法は全く不完全です。しかし上のスペクトル列の E_2 項はかなり計算が可能です。例外群 E_6 , $f \equiv 1 \pmod{2}$ (n は十分大) で係数は $\mathbb{Z}/2$ や、最近西本氏により F_4 , $f \equiv 1 \pmod{3}$ (n は十分大), 係数は $\mathbb{Z}/3$ で E_2 -項は計算されました。そこでこれらの群の *elementary abelian groups* は 庄司、水野先生などによりわかっているので、それらの正規化群を調べることで、 E_∞ -項がある程度わかるのでは、ないかと思、ています。しかしこちらにはこれらの事は手に余ることなので、群論の方に色々教えていたなければと思、ています。一応結果をまとめると

定理 $G(f) = PG(L(f))$, $f \equiv 4, 7 \pmod{9}$ とする。このとき次が成立します。

$$(2) E_2 = E_\infty$$

$$(3) PS H(G(f), \mathbb{Z}/3) = \frac{f(t)}{(1-t^9)(1-t^{12})}$$

$$f(t) = 1 + t + 2t^2 + 3t^3 + 3t^4 + 3t^5 + 3t^6 + 4t^7 + 4t^8 + 4t^9 + 4t^{10} + 4t^{11} + 3t^{12} + 3t^{13} + 3t^{14} + 3t^{15} + 2t^{16} + t^{17} + t^{18}$$

$$\text{そこで } PS H(G(f), \mathbb{Z}/3) = \sum_{n=0}^{\infty} (\dim_{\mathbb{Z}/3} H^n(G(f))) t^n.$$

3 E_2 項の計算

まず Cot の定義を復習してみます。 A を体 k 上の Hopf 代数, $\Delta: A \rightarrow A \otimes A$ を coproduct, M は A 上の comodule ($\Delta_M: M \rightarrow M \otimes A$) とします。 $C^n(M, A) = M \otimes A^{\otimes n}$, $d^n: C^n(M, A) \rightarrow C^{n+1}(M, A)$ を

$$d^n = \sum_{i=0}^{n+1} (-1)^i d_i^n,$$

$$d_0^n(m \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_n) = \Delta_M(m) \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_n$$

$$d_i^n(m \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_n) = m \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_{i-1} \otimes \Delta(a_i) \otimes a_{i+1} \otimes \cdots \otimes a_n, \quad 1 \leq i \leq n$$

$$d_{n+1}^n(m \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_n) = m \otimes a_1 \otimes \cdots \otimes a_n \otimes 1$$

として, $Cot_A^n(M, k) = H^n(C^*(M, A), d)$ と定義します。

次に $Cot_{H^*(G(\mathbb{C}))} (H^*(G(\mathbb{C}), \mathbb{Z}/3))$ を作用をはき, $H^*(G(\mathbb{C}))$ 上の $Cot(H^*(G(\mathbb{C})), H^*(G(\mathbb{C})))$ と書くとします。

coproduct $\Delta: H^*(G(\mathbb{C})) \rightarrow H^*(G(\mathbb{C})) \otimes H^*(G(\mathbb{C}))$ は積 $G(\mathbb{C}) \times G(\mathbb{C}) \rightarrow G(\mathbb{C})$ から誘導されたもの。 $p \equiv 4, 7 \pmod{9}$ のとき, Frobenius F は $H^*(G_p)$ に自明に作用 (k は F の代数閉包, F ホモモジュー はイタール) する $\mathbb{Z}/3$ がわかるので, $H^*(G(\mathbb{C})_{od}, \mathbb{Z}/3)$ は $G(\mathbb{C})_{od} \times G \rightarrow G(\mathbb{C})_{od}$ は $(x, g) \rightarrow g^{-1}xg$ から誘導されます。 最初に必要なデータは。

定理 (Baum - Browder [B-B])

$G = G(\mathbb{C}) = PGL_3(\mathbb{C})$ とするとき

$$(1) \quad H^*(G) = \mathbb{Z}/3[x_1] \otimes \wedge(x_1, x_2)$$

(2) $\Delta: H^*(G) \rightarrow H^*(G) \otimes H^*(G)$ は

$$\Delta(x_i) = x_i \otimes 1 + 1 \otimes x_i + x_1 \otimes x_2$$

$$\Delta(x_i) = x_i \otimes 1 + 1 \otimes x_i \quad (i=1, 2)$$

補題頁2. Comodule $\Delta_{\text{od}} H(G(\mathbb{C})_{\text{od}}) \rightarrow H(G(\mathbb{C})_{\text{od}}) \otimes H(G(\mathbb{C}))$ は

$$\Delta_{\text{od}}(x_3) = x_3 \otimes 1 + x_1 \otimes x_2 - x_2 \otimes x_1$$

$$\Delta_{\text{od}_F}(x_i) = x_i \otimes 1, \quad i=1, 2.$$

これで cot を計算するのに必要は小情報はそのいましたが、まだ実際に計算するには、定義からでは大変です。しかし Kono-Mimura-Shimada [KMS] により $C^*(H(G(\mathbb{C})_{\text{od}}), H(G(\mathbb{C})))$ を適当な関係式で割ったものが与えられています。それを使って計算したものを示します。

命題頁3 $E_2 \simeq (C \oplus D) \otimes \mathbb{Z}/3[y_2]$

ここで

$$C = \mathbb{Z}/3[y_2] \{ \mathbb{Z}/3[x_2/x_3] \otimes \Lambda(x_1) \{ \tau_0, \gamma, \tau_0 \} \oplus \mathbb{Z}/3[x_2/x_3] \otimes \Lambda(x_1) \{ \tau_0 \} \oplus \{ \tau_0 \} \oplus \{ \tau_0 \} \} \\ \oplus \mathbb{Z}/3[y_2] \otimes \Lambda(x_1) \{ \gamma \}$$

$$D = \mathbb{Z}/3[y_2] \{ \mathbb{Z}/3[x_2/x_3] \otimes \Lambda(x_1) \{ \tau_0, \gamma \} \oplus (\mathbb{Z}/3[x_2/x_3] \otimes \Lambda(x_1) - \{ x_2 x_3 \}) \{ \tau_0 \} \oplus \{ \tau_0 \} \} \\ \oplus \mathbb{Z}/3[y_2] \{ y_2, x_1, y_2 \}$$

この表示を使うことで初めの定理と書いた E_2 -項の Poincaré polynomial を計算できます。

4 $G(p)$ と $H^*(G(p))$

$G(p)$, $p \equiv 4, 7 \pmod{3}$ の 3-local structure は split する完全列

$$(1) \quad 1 \rightarrow \mathbb{Z}/3 \oplus \mathbb{Z}/3 \rightarrow G \rightarrow SL_2(\mathbb{Z}/3) \rightarrow 1$$

で与えられ行列で書くと

$$G = \left\{ \left(\begin{array}{ccc} 1 & * & * \\ 0 & SL_2(\mathbb{Z}/3) & \\ 0 & & \end{array} \right) \mid * \in \mathbb{Z}/3 \right\} \subset SL_3(\mathbb{Z}/3).$$

G と $G(p)$ の 3-Sylow 群は同型で:

$$P = \left\{ \begin{pmatrix} 1 & * & * \\ & 1 & * \\ & & 1 \end{pmatrix} \mid * \in \mathbb{Z}/3 \right\}$$

で与えられます。(1) の完全列で $\mathbb{Z}/3 \oplus \mathbb{Z}/3 = \langle a, c \rangle$, $t = \begin{pmatrix} 1 & \\ & 1 \end{pmatrix} \in \text{SL}_2(\mathbb{Z}/3)$ とすると $P = \langle a, t, c \mid a^3 = t^3 = c^3 = 1, [a, t] = c \rangle$ となります。

補題 4 elementary 3-abelian group A について $W(A) = N_G(A)/A$, $N_G(A) = \{g \in G \mid g^{-1}Ag = A\}$ とするとき, $W(\langle c, a \rangle) = \text{SL}_2(\mathbb{Z}/3)$, $W(\langle c, t \rangle) \cong W(\langle c, at \rangle) \cong S_3$ (3次対称群)。

$H^i(P)$ は Leary や Milgram-T で与えられていて, その計算結果が

命題 5. Restriction maps の族

$$H^i(G) \rightarrow H^i(\langle c, a \rangle)^{\text{SL}_2(\mathbb{Z}/3)} \oplus H^i(\langle c, t \rangle)^{S_3} \oplus H^i(\langle c, at \rangle)^{S_3}$$

は単射である。

この結果から $H^i(G)$ が具体的に書けます。結果を書くと,

定理 6

$$H^i(P) = \mathbb{Z}/3[c] \otimes \left[\begin{array}{l} \mathbb{Z}/3[t] \{1, t, t^2, e_1, e_1 t, e_1 t^2, d_1, d_1 t, \tilde{d}_1, \tilde{d}_1 t, \tilde{d}_1 t^2\} \\ \oplus \mathbb{Z}/3[t] \{t^3, e_3, d_3, \tilde{d}_3\} \oplus \{e_1, d_3\} \oplus \{t, d_3 - t d_1\} \\ \oplus \{d_1, \tilde{d}_3\} \end{array} \right]$$

次元は, $|c| = 6$, $|t| = |t^2| = |e_1| = |e_1 t| = 2$, $|\tilde{d}_1| = |\tilde{d}_1 t| = 3$, $|e_3| = |d_3| = 1$.

α と β は命題 3 の生成元は

$$\gamma_{12} = t_1^6 + t_3^6 + c^2, \gamma_8 = t_1 c, x_1 = e_3, y_2 = t_3 + d_1, x_2 = d_1,$$

$$\gamma_3 = \beta(y_2), \gamma_9 = P'\beta(y_2), \tau_6 = t_3 t_1^3, \gamma_8 = d_3 c, \gamma_9 = \beta(d_3 c) = \tilde{d}_3 c$$

$$\gamma_{11} = d_1 \tilde{d}_3 c, \tau_{12} = t_3^2 t_1^9 \text{ に取れます。尚これから } \tau_6 = x_2^3, \tau_2 = \tau_6^2 = x_2^6$$

となり τ_6, τ_{12} は ring generator としては必要がありません。ここで β は Bockstein operation, P' は Steenrod operation です。

他の文献については前回を見てください。

References

[MKS] Mimura. M Kono. A and N. Shimada Cohomology of classifying spaces of certain associative H-spaces , J. Math. Kyoto univ 15-3(1975) 607-617

[BB] P. F. Baum-W. Brouder The cohomology of quotients of classical groups, Topology, 3(1965), 305-336